

イーハトーヴ協創コース 履修モデル

本コースを受講する学生に対し、カリキュラムデザインの参考としてもらうとともに、コースの認知度や有用性を図りたい個別のキャリア像を意識した履修モデルを複数提示します。

本履修モデルはあくまでも参考提示であり、学生はコースに指定する科目を自由に受講することが可能ですので、履修の参考としてください。

なお、専門科目については、原則、所属する学部の科目を受講してください。

(モデル1) 組織の中で働きながら、社会を変えていく

社会や組織を支える仕事に就きたいと思っている学生にお勧めの履修モデルです。

実際の地域の社会課題解決に必要なスキルを修得するとともに、自治体などと連携した講義を受け、市長を始め多くのステークホルダーから様々な学習や体験を通して社会課題の現実を認識することができる。その上で、自分がどのように関わっていったら良いか、将来何を実践したいか明確に出来ることを目指します。

<推奨科目>

● 教養教育科目

- ・地域協創入門（必修 2 単位:100 マイル）(マインドセット)
- ・社会連携学 B(2 単位:100 マイル)(キャリア)
- ・地域協創 A、C、D、F（1 単位:50 マイル）(マインドセット・ツール)
- ・地域課題演習 B（2 単位:100 マイル）(アクション)（令和8年度開講）
- ・キャリアデザイン実践（2 単位:100 マイル）(キャリア)
- ・地域クリエイティブ演習(坂口奈央)など(2 単位:100 マイル)（専門知識）
- ・その他、自治体、課題解決、キャリアなどに関連する教養教育科目

● 専門教育科目

各学部が指定するイーハトーヴ協創コース関連科目から、履修モデルに適していると思われる専門教育科目

<推奨課外活動プログラム>

- ・TOVLAB で開催される各種イベント(キャリア、アクション等)
- ・インターンシップ(一部正課内科目あり)（キャリア）
- ・NEXTSTEP 工房等、地域での実践活動(アクション)
- ・地域課題解決プログラム(アクション)
- ・「陸前高田イタルトコロ大学」など

<履修者の就業イメージ>

民間企業(特にサービス・小売系)、地方公務、国家公務、学校教育 など

(モデル2) ビジネス手段を活用し、経済活動を生み出していく(アントレプレナー)

将来、ビジネスをベースにして、社会課題や、技術課題を解決するために、企業の中で新規事業を創造したり、新しくベンチャー企業を起業することなども視野に入れて、社会を支え、経済活動を生み出していくことに興味がある学生に適した履修モデルです。

実際に様々な社会人などと連携するために必要なマインドセットを学び、更に企業の経営者や、若手社員などと意見交換を行い、一般企業での仕事に関する知識を身につける。更にベンチャー企業経営者との対話をするだけでなく、金融、経営、DX、AI など、これからビジネスを行うにあたり、必須のスキルを身につけることを目指します。

<推奨科目>

● 教養教育科目

- ・地域協創入門 (必修 2 単位:100 マイル)(マインドセット)
- ・社会連携学 A(2 単位:100 マイル)(キャリア)
- ・地域協創 B、E、D、F(1 単位:50 マイル(ツール))
- ・地域課題演習 A (2 単位:100 マイル(アクション))(令和8年度開講)
- ・地域クリエイティブ演習など(2 単位:100 マイル) (専門知識)

その他、経済、経営、金融、マーケティングなど、企業活動などに関連する教養教育科目

● 専門教育科目

各学部が指定するイーハトーヴ協創コース関連科目から、履修モデルに適していると思われる専門教育科目

<推奨課外活動プログラム>

- ・TOVLAB で開催される各種イベント(キャリア、アクション等)
- ・インターンシップ(一部正課内科目あり)(キャリア)
- ・学内カンパニー、NEXTSTEP 工房等(アクション)
- ・ビジネスプランコンテストへの参加(アクション)
- ・いわてイノベーションスクールへの参加(アクション) など

<履修者の就業イメージ>

民間企業(特に金融・技術系)、起業・創業、ベンチャー企業、経営者 など

(モデル3) 地域のことをより深く理解して、地域と共に生きていく

社会課題解決のために、より深く地域の状況を把握することが重要である。持続可能な社会の実現のために、様々な社会課題解決に取り組みたい人へお勧めする履修モデルです。

様々なステークホルダーとのコミュニケーションを実践するために必要なスキルを学ぶと共に、できるだけ多く地域で活動している社会人と接点を持ち、社会課題解決のための新しいビジネスモデルを構築することを目指します。

同時に社会の平和や自分自身の生き方についても深く考える機会を設けます。

<推奨科目>

● 教養教育科目

- ・地域協創入門(必修 2 単位:100 マイル)(マインドセット)
- ・社会連携学 B(2 単位:100 マイル)(キャリア)
- ・地域協創 A、C、F、H、I (1 単位:50 マイル)(マインドセット、ツール)
- ・地域課題演習 B(2 単位:100 マイル)(アクション)(令和8年度開講)
- ・キャリアデザイン実践(2 単位:100 マイル)(キャリア)
- ・インターカレッジ・フィールド実践演習(2 単位:100 マイル)(アクション)
- ・地域クリエイティブ演習(坂口奈央)など(2 単位:100 マイル)(専門知識)
- ・「危機管理と復興」(2 単位:100 マイル)(専門知識)
- ・「地場産業・企業論」(2 単位:100 マイル)(専門知識)
- ・地域防災課題演習 (2 単位:100 マイル)(アクション)
- ・宮澤賢治の世界(2 単位:100 マイル)(マインドセット)
- ・その他、地域、社会課題、地方創生などに関連する教養教育科目

● 専門教育科目

各学部が指定するイーハトーヴ協創コース関連科目から、履修モデルに適していると思われる専門教育科目

<推奨課外活動プログラム>

- ・TOVLAB で開催される各種イベント(キャリア、アクション等)
- ・インターンシップ(一部正課内科目あり)(キャリア)
- ・学内カンパニー、NEXTSTEP 工房等(アクション)
- ・陸前高田イタルトコロ大学事業(アクション) など

<履修者の就業イメージ>

民間企業(特に地方企業や地域志向を標榜する企業)、NPO、地方公務、学校教育など

(モデル 4) 自分の可能性を活かして、新たな未来を創っていく

最新のテクノロジーや新しい考え方/発想で未開の世界を創造することに興味を持つ人へお勧めする履修モデルです。

デザイン思考だけではなく、アート思考、AI,DX など様々な考え方や、ツールを学び、各自の専門性も活かして、独自の全く新しい価値を創造することを目指します。

<推奨科目>

● 教養教育科目

- ・地域協創入門 (必修 2 単位:100 マイル)(マインドセット)
- ・地域協創 B、E、F、G、H、I(1 単位:50 マイル)(ツール、マインドセット)
- ・地域課題演習 C (2 単位:100 マイル)(アクション) (令和8年度開講)
- ・地域クリエイト課題演習 (2 単位:100 マイル)(専門知識)
- ・地域グローバル課題演習 (2 単位:100 マイル)(専門知識)
- ・その他、イノベーション、価値創出、アイデア、コミュニケーション等に関連する教養教育科目

● 専門教育科目

各学部が指定するイーハトーヴ協創コース関連科目から、履修モデルに適していると思われる専門教育科目

<推奨課外活動プログラム>

- ・TOVLAB で開催される各種イベントへの参加(キャリア、アクション等)
- ・インターンシップへの参加(キャリア)
- ・学内カンパニー、NEXTSTEP 工房等への参加(アクション)
- ・地域課題解決プログラム(アクション)

<履修者の就業イメージ>

研究者、クリエイター、デザイナー、芸術家 など

(モデル 5) 環境問題の解決に取り組み、持続可能な社会を創っていく(環境人材育成)

環境問題の解決と持続可能な社会創りに貢献できる「環境人材」の育成を目指す履修モデルです。

岩手大学では、2009 年度から環境教育・ESD(持続可能な開発のための教育)・EMS(環境マネジメントシステム)と岩手県内外の様々なステークホルダーとの連携を組み合わせた環境人材育成を続けてきました。

直面している気候変動・生物多様性の損失・環境汚染といった地球規模の環境危機に対応し、SDGs(持続可能な開発目標)達成を含めた持続可能な社会創りに貢献できる「環境人材」の育成と活躍は今後も益々必要になります。

本モデルでは、「環境人材」の要素としての「基礎的、実践的な環境力」や各学部の「専門分野」を身に着け、環境危機への対応と持続可能な社会創りへの「強い意欲」と「リーダーシップ」を涵養することを目指します。

<推奨科目>

● 教養教育科目

- ・地域協創入門 (必修 2 単位:100 マイル)(マインドセット)
- ・環境 A～E、特に環境 F(2 単位:100 マイル)
- ・社会連携学 A (2 単位:100 マイル)(キャリア)
- ・社会連携学 B (2 単位:100 マイル)(キャリア)
- ・地域協創 B、C、F、G (1 単位:50 マイル)(ツール、マインドセット)
- ・地域課題演習 D (2 単位:100 マイル)(アクション) (令和8年度開講)
- ・その他、環境、気候、生物多様性等に関連する教養教育科目

● 専門教育科目

- ・地域環境マネジメント実践演習(2 単位:100 マイル)
- ・その他、各学部が指定するイーハトーヴ協創コース関連科目から、履修モデルに適していると思われる専門教育科目

<推奨課外活動プログラム>

- ・環境マネジメント学生委員会への参加(アクション)
- ・TOVLAB で開催される環境人材育成関連イベントへの参加(キャリア、アクション等)
- ・環境人材育成関連インターンシップ・ボランティア活動への参加(キャリア・アクション)
- ・環境人材育成関連 NEXTSTEP 工房等への参加 (アクション)
- ・環境人材育成関連の地域課題解決プログラム(アクション)

<履修者の就業イメージ>

特に環境関連分野の民間企業・地方公務・国家公務・NPO・社会起業家 など

(モデル6) 地域協創ものづくりプログラム

ものづくりを通して地域課題を解決するための幅広い実践技術を身につけ、地域産業の発展に貢献したいと考えている人向けの履修モデルです。

地域課題を理解し、多様な人々との協創によって課題解決のために自律的に判断・行動できる能力と、ものづくりを通して地域課題を解決するための幅広い実践技術を身につけ、独自技術を開発して地域産業の発展に貢献できる能力の修得を目指します。

<推奨科目>

● 教養教育科目(イーハトーヴ協創コース科目)

- ・地域協創入門 (必修 2 単位:100 マイル)(マインドセット)
- ・地域クリエイト課題演習 (2 単位:100 マイル)(専門知識)
- ・地域協創 A~I (1単位:50 マイル)(マインドセット・ツール)
- ・その他、経済、経営、企業活動などに関連する科目

● 専門教育科目

推奨科目

- ・「ものづくり課題演習 I」(1 単位:50 マイル)(専門知識)
- ・「ものづくり課題演習 II」(1単位:50 マイル)(専門知識)
- ・「社会体験学習」(1 単位:50 マイル)(専門知識)
- ・「工業経営管理論」、「知的財産権概論」、「特許法特講」(2単位:100 マイル)(専門知識)
- ・その他、各学部が指定するイーハトーヴ協創コース関連科目から、履修モデルに適していると思われる専門教育科目

<推奨課外活動プログラム>

- ・学内カンパニー(アクション)
- ・NEXTSTEP 工房等への参加(アクション)
- ・地域課題解決プログラム(アクション)

<履修者の就業イメージ>

ものづくり企業 など